

NPO法人 八王子ひよどり 農業支援センター

八王子市

平成30年1月調査

1 活動の目的

都市近郊農業の抱える人手不足、高齢化などによる農地の遊休状態の改善、市民農園、農家開設型農園の支援、農業ヘルパーの育成、地場野菜の栽培等により、近郊農業を維持発展させ、景観、環境の保全、地産地消型社会の実現の一助となる。

2 活動が始まったきっかけ

平成18年より開設された東京都農業実践セミナーの1期生を中心に修了生でOB会を組織、主に援農を目的に活動、その後、八王子農業塾の運営受託を機にNPOを設立（H22）、とうきょう元気農場発足に関わり、当初より生産者の一員として、農業生産に携わり、現在に至る。

3 会員資格

会員資格は農業に興味があれば、どなたでも可

4 会員の募集方法

八王子農業塾の修了生、NPOの会員を介しての紹介

5 入会金・年会費等の有無

入会金	なし
正会員（個人）	年間1,000円
正会員（団体）	10,000円（現在該当なし）
賛助会員	10,000円（現在該当なし）



6 会員数

76名

7 会員の特徴

平均年齢 66才（男性82%、女性18%）

菜園規模から大型農業への関心、情報交換、農業塾生への支援、会員相互のコミュニケーション（おしゃべり）



8 活動概要

とうきょう元気農場……とうきょう元気農場生産組合に加入し、約1.5haを耕作、都内学校給食への野菜を提供している。（都事業）
玉葱、秋ジャガイモ、万次郎カボチャ、サツマイモ等を栽培、計約6トンを出荷。
また、都内小中学生、栄養士を対象に農業体験、農場見学を実施。

八王子農業塾………八王子市が行っている八王子農業塾の運営を受託

八王子市市民農園……市民農園600区画の管理受託

各活動に参加した会員には、時間500円を作業委託料として4ヶ月に1度支払っている。

9 現在、運営・活動で大変に感じる事、困っていることなど

NPOの運営は現在安定していますが、八王子市、東京都の事業に大きく関わっており、行政として10年サイクルの見直しは必然と思われます。大きな見直し（廃止を含め）があると、NPOの活動に多大な影響がでることを懸念しています。

10 今後の方向性

生産物は、都の事業として畑の少ない都内16区の学校給食に提供していますが、給食用として使用できないサイズ等は、フードバンク又は直接必要としている施設等へ寄付しています（29年より）。今後も拡大していく予定です。

当初の目的の援農関係につきましては、援農そのものに若干の違和感があり、また、当NPOの高齢化（昨今の高齢者の交通事故）等をかんがみて中止しており、今後もうきょう元気農場内の活動を主に行っていく予定です。

NPO内、生産組合、農家とのコミュニケーションを多様化することにより農業をととしての高齢化対策?も視野に入れて活動していきます。

11 事務局もしくは会員からひとことメッセージ

トラクターなど十数種類の農業機械を使い、楽しく農業を!!をメインに、“わいわい ガヤガヤ”と農業をしています。家庭菜園から大型農業へ!!何にも知らなくてもOK!です。

ここで行う農業は趣味の農業ではなく、商品（対価を得る）を作るという緊張感を持ちながら、反面、ワイワイ、わいわい、ガヤガヤとコミュニケーションを大切にしています。年間3～4回の食事会?も毎回半数程度の参加があり、経験の多少にかかわらず楽しんでます。

12 問合せ先

住 所 〒192-0024
東京都八王子市宇津木町250番地1
電 話 042-649-6416 090-3336-5862
Eメール t-senuma@mbd.nifty.com
担当者名 瀬沼俊男（代表理事）

